

社 会

(地理的分野)

(3) 社会（地理的分野）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりする学習活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題に向けて公正に選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりするなど、言語活動に関わる学習のための工夫 (3) 情報活用能力の育成に向け、学校図書館や地域の公共施設、コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、生徒が主体的に調べ分かれようとして学習に取り組むための工夫 (4) 学習したことを振り返り、学習成果を確認したり新たな問いを見いだしたりすることや、学んだことをもとに自らの生活を見つめたり社会生活に向けて生かしたりすることができるような工夫 (5) 地理情報を収集する技能を身に付けるなど、生徒が自主的に学習を進めていくことができるような工夫 (6) 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等
3 その他	今日的な課題への配慮や工夫

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
<p>2 東書</p>	<p>●着眼点(1)について 各単元の導入部で、単元を貫く探究課題を立てるなど、その課題を軸に構造化されており、生徒が課題解決に向けて学習が進められるよう工夫されている。 〔例〕（P8、P10等）</p> <p>●着眼点(2)について ・「みんなでチャレンジ」では、小集団での対話的な学習が行えるよう工夫されている。 〔例〕（P15、P23等） ・単元（章）の終末部分に「まとめの活動」を設け、思考ツールを使って学習内容を整理できるようにするなど、言語活動に関わる学習を行えるよう工夫されている。 〔例〕（P20～21等）</p> <p>●着眼点(3)について 動画コンテンツ等、デジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕（P4、P9、P161等）</p> <p>●着眼点(4)について 単元の終末に「まとめの活動」を設定しており、単元の振り返りを行うことや今後の社会生活に生かすことができるよう工夫されている。 〔例〕（P20、P32等）</p>	<p>●着眼点(5)について 地理学習の基礎的な技能を説明する「スキルアップ」コーナーを設け、さまざまな活用場面を通して地理情報を収集するための技能が身につけられるよう工夫されている。 〔例〕（P15、P17等）</p> <p>●着眼点(6)について 「環境」や「防災」など、現代的な5つのテーマを設定し、さまざまな課題やその課題克服のための取組を取り上げ、課題に対する意識をもって発表等を行うことができるよう工夫されている。 〔例〕（巻頭3、P164～165等）</p> <p>●着眼点(7)について ・各ページに「分野関連」マークや「教科関連マーク」を付し、歴史、公民や他教科との関連性がわかるよう工夫されている。 〔例〕（P23、P26、P25、P80等） ・各単元の導入部に、小学校で学習した内容を振り返るページを設け、小学校の学習との連携を図ることができるよう工夫されている。 〔例〕（P8、P33等）</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について 主題とともに学習課題が明示されており、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 〔例〕 (P10、P12 等)</p> <p>●着眼点(2)について ・学習課題に対応した「表現」コーナーが設定されており、課題等に関わる表現活動を行うことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P11、P13 等)</p> <p>・各章末に「学習のまとめと表現」が設けられ、生徒が学んだことを説明する活動ができるよう工夫されている。 〔例〕 (P24 等)</p> <p>●着眼点(3)について 教科書とウェブサイトをリンクさせた「まなびリンク」にアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P13、P43 等)</p> <p>●着眼点(4)について 章や節の終末に「学習のまとめと表現」が設定されており、単元の振り返りを行うとともに、知識等の整理を行うことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P42、P61 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 「地理の技」及び「THINK!」コーナーを設け、様々な活用場面を通して、地理情報を収集するための技能を身につけるとともに、自主的な学習を進めていくことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P7、P10 等)</p> <p>●着眼点(6)について 「環境問題」等、各地域の事例をもとに今日的な課題に迫るテーマが取り上げられており、個人やグループでさらに学びを深められるよう工夫されている。 〔例〕 (P72～73、P100～101 等)</p> <p>●着眼点(7)について ・各ページに「関連」マークを付し、歴史、公民に関連のある学習内容が示されている。 〔例〕 (P23、P67 等)</p> <p>・本章前の「地理にアプローチ」では、小学校で学習した内容が掲載されており、小学校の学習と円滑に接続できるよう工夫されている。 〔例〕 (P2～3 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
46 帝国	<p>●着眼点(1)について 巻頭に地理的な見方・考え方を示すとともに、各見開きに、「節(章)の課題」に対応した学習課題を設けており、生徒が自主的に課題解決に向けて学習を進められるよう工夫されている。 〔例〕(巻頭8、P2、P4等)</p> <p>●着眼点(2)について ・「確認しよう」「説明しよう」のコーナーが設定されており、課題に対応した表現活動を行うことができるよう工夫されている。 〔例〕(P7、P9等)</p> <p>・章の最後の「学習を振り返ろう」で、章の問いをグループで話し合うなど言語活動に関わる学習ができるよう工夫されている。 〔例〕(P13等)</p> <p>●着眼点(3)について 動画コンテンツ等、デジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕(P4、P11等)</p> <p>●着眼点(4)について 章や節などの終末に「章(節)の学習を振り返ろう」が設定されており、学習の振り返りを行ったり、今後の社会生活に生かしたりできるよう工夫されている。 〔例〕(P13、P63等)</p>	<p>●着眼点(5)について 「技能をみがく」では、さまざまな活用場面を通して、地理情報を収集するための技能を身につけられるよう工夫されている。 〔例〕(P5、P17等)</p> <p>●着眼点(6)について 「環境・防災・共生」をテーマとした「未来に向けて」等のコラムを掲載し、今日的な課題を取り上げることで、生徒が自発的な学習を行えるよう工夫されている。 〔例〕(P182、P264等)</p> <p>●着眼点(7)について ・「小学校・歴史・公民・他教科との関連」マークが付されており、小学校との関連を図った学習へつなげられるよう工夫されている。 〔例〕(P6等)</p> <p>・「小学校・歴史・公民・他教科との関連」マークが付されており、歴史、公民、他教科との関連を図った学習へつなげられるよう工夫されている。 〔例〕(P20等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
116 日文	<p>●着眼点(1)について 見開きページごとに学習課題が明示されているとともに、解決の手がかりとなる「見方・考え方」が掲載されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 〔例〕 (P2、P4 等)</p> <p>●着眼点(2)について ・「確認」「表現」コーナーでは、学習したことを振りかえったり文章で説明したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着できるよう工夫されている。 〔例〕 (P15 等)</p> <p>・「議論してみよう」では、表現活動へのヒント等が掲載されており、さまざまな表現活動を行うことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P61、P77 等)</p> <p>●着眼点(3)について 生徒の自発的な調べ学習へとつながるよう動画コンテンツ等の利用ができる二次元コードが配置されている。 〔例〕 (巻頭8、P54、P86 等)</p> <p>●着眼点(4)について 章や節の終末に「まとめと振り返り」が設定されており、単元の振り返りを行うとともに、知識等の整理を行うことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P24、P60 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 「スキルUP コーナー」を設け、地理の学習を進めるにあたって必要な技能を、系統立てて身につけられるよう工夫されている。 〔例〕 (P8、P28 等)</p> <p>●着眼点(6)について 「環境問題」「多文化共生」等の地球的課題・社会的課題について紹介する等、取り上げた課題に対して自発的な学習を行えるよう工夫されている。 〔例〕 (P103、P245 等)</p> <p>●着眼点(7)について ・脚注に歴史、公民及び小学校社会科との関連が明記され、各分野や小・中学校の学習内容が円滑に接続されるよう工夫されている。 〔例〕 (巻頭8、P18 等)</p> <p>・グラフから状況を読み取る活動等、数学等他教科との連携が図られるよう工夫されている。 〔例〕 (P55、P208 等)</p>

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	総 ペー ジ	(1) 内容別配当の分量								(2) 教材・資料等の分量												
		A世界と日本の 地域構成		B世界の様々な 地域		C日本の様々な地域				地図	図版	写真	統計資料 (グラフ等)	年表	読み物資料	インタビュ ー	注 釈・ 用語 解説	表 現 活 動 例	見 方・ 考 え 方 の 例 示	学 習 の ス キ ル	二 次 元 コ ー ド に 類 する もの	三 重 県 に 関 わる 記 述 等
		(1) 世界 の 地 域 構 成	(2) 日 本 の 地 域 構 成	(1) 境 界 世 界 各 地 の 人 々 の 生 活 と 環 境	(2) 世 界 の 諸 地 域	(1) 地 域 調 査 の 手 法	(2) 分 割 日 本 の 地 域 的 特 色 と 地 域 区 分	(3) 日 本 の 諸 地 域	(4) 地 域 の 在 り 方													
2 東書	260	12	12	22	78	12	27	86	11	131	30	221	115	1	55	34	21	154	148	31	132	○
17 教出	277	10	8	17	85	14	26	107	10	176	22	208	140	6	65	9	50	110	140	12	31	○
46 帝国	286	12	12	17	83	12	24	115	11	158	35	228	130	0	64	18	55	185	119	21	81	○
116 日文	287	10	10	18	86	14	24	114	11	127	32	215	155	1	60	20	11	152	152	27	154	○

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はA B判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・カラー・フォントがユニバーサルデザインが採用されている。 ・①導入資料②学習課題③本文と図版、「課題を深めるコラム・活動」等④「チェック＆トライ」という流れで、学習内容が構造化されており、1時間の授業が見開きで完結できるよう構成されている。 ・「世界の諸地域や日本の諸地域」では、小学校の学習の振り返りを通した「探究課題」が設定されている。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の主な家畜、世界の主な鉱産資源や世界の主な農作物が掲載されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はA B判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・カラー・フォントにユニバーサルデザインが採用されている。 ・①導入資料②学習課題③本文と図版、「THINK!」等④「確認」「表現」という流れで、各章等が構成にされており、1時間の授業が見開きで構成されている。 ・第1編直前に小学校の学習を振り返る活動があり、中学校と円滑な接続が図られるよう配慮されている。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の主な家畜、主な鉱産物、世界の主な農作物が掲載されている。
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はA B判で、再生紙とライスインキを使用し、環境に配慮されている。 ・堅牢な造本方式を採用し、長期間の使用にも耐えられる。カラー・フォントにユニバーサルデザインが採用されている。 ・①導入資料②学習課題③本文と図版、対話的な学びのためのコラム等④「確認しよう」「説明しよう」という流れで構成されており、1時間の授業が見開きで完結できるように構成されている。 ・小学校の学習や歴史、公民で学ぶ事項を示す、「小学校・歴史・公民との関連」が設定されている。 ・巻末にさくいんが掲載されている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はA B判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・あじろ綴じを採用し、カラー・フォントにユニバーサルデザインが採用されている。 ・①導入資料②学習課題とその「見方・考え方」③本文と図版、「地理+α」等のコーナー④確認という流れで、構成されており、1時間の授業が見開きで完結できるように構成されている。 ・小学校の学習や歴史、公民で学ぶ事項を示す、「連携コーナー」が設定されている。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の国・日本の都道府県別の資料、世界の家畜、世界の鉱産資源、世界の農作物が掲載されている。

3 その他

今日的な課題への配慮や工夫	
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに、北方領土に関する現状や課題等について掲載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に尾鷲市、伊勢市、四日市市の事象を取り上げている。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標（SDG s）」が取り上げられている。 ・防災教育について、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組を取り上げるコーナーを設け、防災や安全についての意識が高まるよう工夫されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに、北方領土についてはこれまでの経緯を年表にする等、現状や課題等について掲載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に尾鷲市、志摩市、四日市市の事象が取り上げられている。 ・世界の諸課題を解決する視点として巻頭に「持続可能な開発目標（SDG s）」が掲載されている。 ・防災教育について、地域調査の視点として「地域の防災」を取り上げたり、「災害から身を守るために」という課題を掲載し、災害に対する公的な仕組みや防災マップについて取り上げたりすることで、防災や安全に対する意識が高まるよう工夫されている。
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、日本の国土全域を記載するとともに、竹島や尖閣諸島、北方領土に関する現状や課題等について記載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に尾鷲市、津市、志摩市、四日市市の事象が取り上げられている。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標（SDG s）」を取り上げられている。 ・防災教育について、日本で発生する自然災害を地形や自然等の自然環境と関連づけて記載されている。また、全国で行われている防災や減災について記載することで、防災や安全についての意識が高まるよう工夫されている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、東西南北の国境を記載するとともに、北方領土や竹島、尖閣諸島にまつわる現状や課題について記載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に松阪市、尾鷲市、四日市市の事象が取り上げられている。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標（SDG s）」が取り上げられている。 ・防災教育について、日本で発生する自然災害を地形や自然等の自然環境と関連づけて記載されている。また、防災や減災についての工夫を記載することで、防災や安全についての意識が高まるよう工夫されている。